



『さかとくインクル』と称し、「県立特別支援学校地域連携体制構築事業」として、さまざまな取り組みを行いました。小中学校の管理職や特別支援教育コーディネーター等の先生方、県西教育事務所や市町教育委員会の担当者の方々にはアンケートの回答や学校公開、巡回教育相談等たいへんお世話になりました。地域連携協議会では、小中学校等の特別支援教育の現状や課題を把握することができ、連携体制を整備することの必要性を改めて感じました。

境特別支援学校は、次年度も『さかとくインクル』を継続し、地域の特別支援教育のセンター的機能の充実を図って参ります。今後ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

「さかとくインクル」アンケート結果

2回（6月、12月）実施したアンケートではたくさんの先生方から回答をいただきました。結果を別紙にて報告させていただきます。

特別支援学級の取り組み等の参考にいただき、今後も特別支援学校のセンター的機能を活用していただければ幸いです。



さかとくインクルアンケート

国立特別支援教育総合研究所で作成した「インクル COMPSSS」を参考に作成。体制整備や教育課程など、7つの観点（全20項目）について確認をしたもの。

職員交換体験研修

古河市立名崎小学校、坂東市立飯島小学校、坂東市立神大実小学校にご協力いただき、職員の交換体験研修を行いました。

特別支援学校を体験した先生の感想

- ・自分でできることは手を出さず、励ましの言葉かけをしながら見守る姿勢が印象に残った。
- ・自立活動の授業や教材教具、言葉かけなどが参考になった。
- ・専門的なことを学ぶ機会で、自身のスキルアップにつながった。



名崎小での体験の様子

小学校を体験した特別支援学校職員の感想

- ・小学校だからこそできることと、特別支援学校だからこそできることがあり、実態に合った環境で学ぶことの大切さを感じた。
- ・特別支援学級の先生方のニーズや悩みを知ることができた。
- ・個に応じた支援や自立活動の指導など、特別支援学校の職員が中心となって広めていく必要があると感じた。

第3回 さかとくインクル協議会

1月17日（水）今年度最後の地域連携協議会が開催されました。本事業における活動と成果が報告され、特別支援教育の課題を共有することができました。

若手教員の研修や学校公開等、具体的な活動や連携について確認することができました。



さかとくインクル地域連携協議会の委員のみなさま

令和6年度の予定

令和6年度 学校公開

- ① 6月20日（木）
- ② 11月18日（月）
- ③ 11月19日（火）

※詳細については後日お知らせいたします。

特別支援教育相談支援センター

学校見学、来校相談、
巡回相談、体験学習 etc.

※お気軽にご相談ください。

